

生活科 授業改善推進プラン

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

○植物や生き物の観察など、調べたことや感じたことを絵や文章で表現する技能を身に付けることができた。

(2) 課題

○働きかけがあると植物の水やりや成長に伴う様子の変化の観察に意欲的に取り組むが、自発的にすすんで世話や観察をする児童が少ない。

2 観点ごとの実態

	1 年	2 年
知識・技能	・栽培活動では、朝顔の成長の様子について、諸感覚を使って調べることができる児童が多い。	・栽培活動では、ミニトマトの成長や変化について気付き、五感を使って観察カードにまとめることができる児童が多い。 ・栽培活動や飼育活動などを通して、自分自身の成長や生活上の新たな事象への気付きにつながることは少ない。
思考・判断・表現	・植物や生き物と関わる際に、関心をもって世話をしたり自分なりに考えて観察したりしているが、文や言葉で表現する力に課題がある。	・栽培活動や飼育活動では、気付いたことを表現する力は向上が見られるが、比べたり例えたりして、分かりやすく伝える力に課題がある。
主体的に学習に取り組む態度	・校内の人々や植物と関わる活動には、楽しく取り組んでいるが、自ら働きかける態度に課題がある。	・自分たちが住んでいる地域を、意欲的に関心をもって探検することができた。 ・植物の栽培や生き物の飼育など、自らすすんで世話する態度に課題がある。

3 課題と授業の改善策

		1 年	2 年
課題	知識・技能	・栽培活動を通して、植物の変化や成長の様子、生命の大切さに気付くこと。 ・自分自身や身近な人々と関わる学習活動において、生活上必要な習慣や技能を身に付けること。	・栽培活動や飼育活動などを通して自分自身の成長に気付いたり、自分の生活における新たな発見に気付いたりすること。 ・植物や生き物の成長や変化について、様々な観点から気付くこと。
	思考・判断・表現	・植物や生き物と関わる中で、それらの変化や成長の様子に関心をもって働きかけること。また、よりよい成長を願って世話の仕方を考えたり工夫したりすること。 ・身近な人々や自然と自分自身がどのように関わっているかを具体的に考えること。	・動植物のよりよい成長を願って世話の仕方を考えたり工夫したりすること。 ・栽培活動や飼育活動などにおいて、見付けたり比べたり例えたりして、分かりやすい伝え方を工夫して表現すること。
	主体的に学習に取り組む態度	・校内の人々や栽培している植物と関わる活動で、自らすすんで働きかけたり、愛着をもって取り組んだりすること。	・植物の栽培や生き物の飼育等、決められた活動だけでなく、愛着をもってすすんで活動すること。
授業の改	知識・技能	・観察の観点や例を示し、活動の時間を十分に確保する。注意深く観察したり考えたことを交流したりする場面を設定する。 ・楽しく安全に生活する意識をもたせ、学習活動に合わせて必要な習慣や技能を身に付けることができるようにする。	・観察や体験したことをまとめる際には、観点や要点を明確に提示し、児童が意識をもって考えたり記録したりできるようにする。画像資料の提示や記録カードの比較により、様子の変化についても注目できるようにする。

善策	思考・判断・表現	- 植物や生き物と関わる際に、諸感覚を働かせて観察したり、関心をもって世話をしたりできるように学習活動を工夫する。 - 身近な人々や自然と関わる活動の中で、自分自身について気付いたり比べたりしながら考え、表現できるようにする。	- 観点やキーワードなどを具体的に示すことで、事象の変化に気付いたり、自分なりの考えをもたせたり、それを他教科の学習と関連させて表現する方法に気付くことができるようにする。 - タブレット PC を活用して植物の生長過程を記録し、変化に気付くことができるようにする。
	主体的に学習に取り組む態度	校内の人々や栽培している植物と関わる活動を、楽しんだり工夫したりできるように場を設けたり、環境を整えたりする。また、その活動のよさを自分たちの生活に取り入れ たり、役立てたりできるようにする。（1 年生と 6 年生の交流活動 等）	学習の際に具体的な活動の例示をしたり、すすんで取り組めた児童を取り上げたりすることで、実践意欲を高められるようにする。